「保谷駅における路上喫煙・ごみのポイ捨ての防止対策について」

都立保谷高校ボランティア部

４つの視点

- 人（モラル・心理）の視点
- 環境・まちづくりの視点
- ルール・条例・法律の視点
- 教育・啓発の視点

人（モラル・心理）の視点

【原因】

- 秘匿性がある
- 捨てるところがない
- ごみを捨てても目立たない

ルール・条例・法律の視点

【ルール・法律】

・廃棄物処理方法
・軽犯罪法など

【原因】

・法律に対する理解が浅い
・見つからなければよいという安易な考え

環境・まちづくりの視点

【原因】
・すでにごみが多い
・ベンチと花壇の距離が近い

教育・啓発の観点

【原因】
・ポスターに目が留まらない。
・ポイ捨てに関する教育があまりされていない。

保谷高校から５つの提案

提案する対策１

駅に透明な箱を設置し、
その駅で拾った煙草の
ゴミを入れて展示する。

⇒**煙草をポイ捨てする人の善意に訴えかける**

提案する対策２

定期的にポスターを
変えることで、風景に
溶け込むのを避ける。

提案する対策２

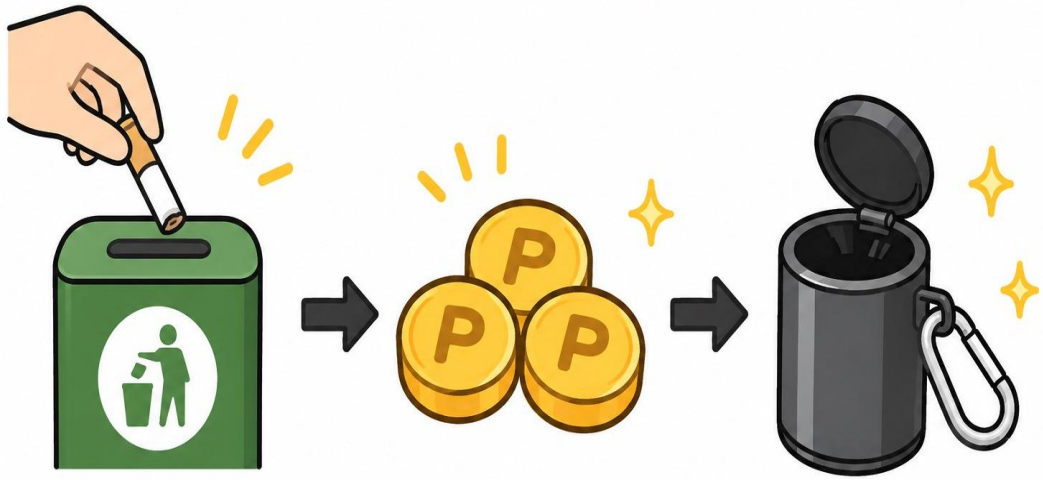
西東京市の小中学生に
ポイ捨て防止のポスターを
作ってもらい、駅などに貼る。

⇒**子供のころからの教育に
つながる。**

提案する対策３

吸い殻をポイントと交換できるようにする。

貯めたポイントで、携帯灰皿をもらうことができるようにする。



⇒**ポイ捨てを減らす。**

提案する対策４

ゴミがたまりやすい
所をAIに聞き、
その場所にアートを
描く。

⇒**ごみを捨てにくく
する。**

提案する対策５

花壇とベンチの距離をあける。

⇒**ベンチで煙草を吸った後にポイ捨てしたゴミが目立つようにする。**

まとめ

- ポイ捨ての原因は、人の意識だけでなく、
  環境やルールなど様々な要因がある。
- 1つの対策だけでなく、モラルの向上・環境整備・ルールの徹底・教育や啓発を
  組み合わせることが大切。
- 1人1人が責任をもって行動することで、
  ポイ捨てのないきれいなまちづくりにつながる。